

蟻無山1号墳

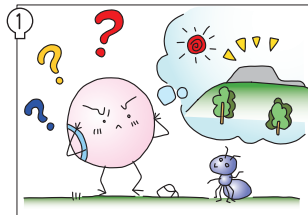
蟻無山1号墳は、古墳時代中期（5世紀前半）に築かれた「蟻無山古墳群」のなかで最大規模の古墳で、平成22年度の測量調査の結果、全長52m、44mの円丘部に突出部が付属する「造出し付き帆立貝形古墳」であることがわかりました。

これまでに採集された遺物として、初期須恵器のほか、円筒埴輪、朝顔形埴輪や形象埴輪（船、馬、家、鳥、盾など）があり、赤穂市立有年考古館に収蔵されています。

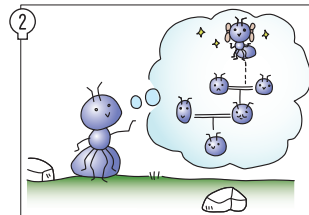
その重要性から、昭和50年3月18日には兵庫県指定文化財（史跡・指定番号46）に指定されています。

※帆立貝形古墳・・・円形の墓に小さな突出部がつくため、「帆立貝」のようにみえることから、名づけられた古墳の種類。蟻無山1号墳の場合は、さらに「造出し」が付属していることから、「造出し付き帆立貝形古墳」と呼んでいます。

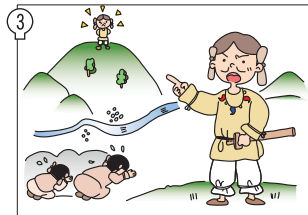
ありなしやま むかしばなし



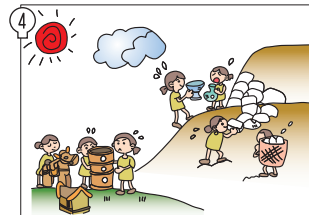
ありんこ どうしてここが「ありなしやま」という名前なのか、知ってる？



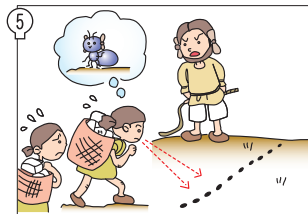
ありんこ ぼくのご先祖さまのころの話なんだ。



ありんこ あるとき、とても偉い人がなくなって、山にお墓をつくることになったんだ。



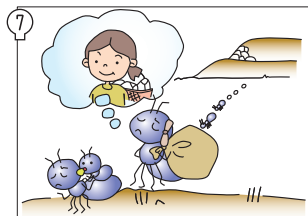
ありんこ ムラの人は、川から石をたくさん運んだり通輪をつくらしたんだよ。



ありんこ そのとき、ぼくのご先祖さまの行列をよけて、転んではいった人がいた。



ありんこ その人は、石をこぼしてしまったので、大変つらい目にあったそうなの。



ありんこ だからぼくのご先祖さまは、みんなをつれてこの山から出て行ったんだって。

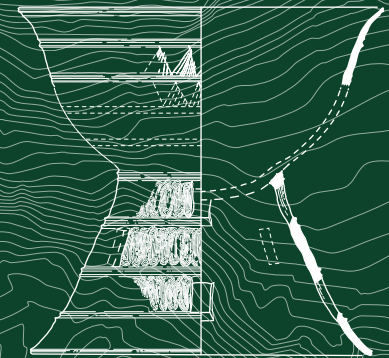


ありんこ こうして出来たのがありなしやま古墳。ありがなくなったから、ありなしやま。



見学するときは、野外活動に適した服装（長袖・ズボン）や靴を身につけていきましょう。ハチ・ヘビ・ウルシ・マダニなど有害な動植物に気を付けましょう。

ありなしやま 蟻無山古墳群



赤穂市教育委員会

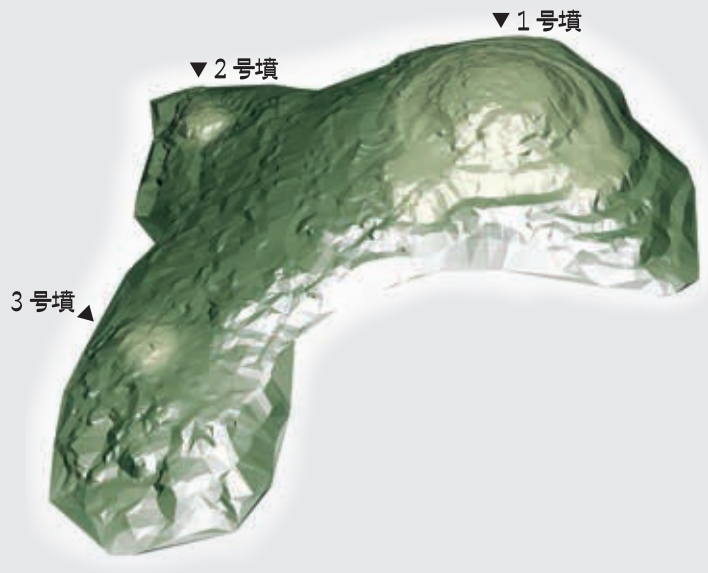
蟻無山古墳群

蟻無山古墳群は、有年を南北に貫流する千種川を眼下に望む丘陵上にあり、その山頂からは、北方の上郡町域から南東方の有年原までを広く見渡すことができます。

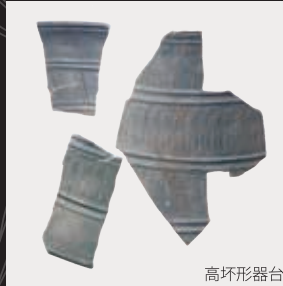
蟻無山古墳群が築かれたのは、当時のヤマト政権が積極的に朝鮮半島と交渉を持ち出した5世紀前半のこと。ここに、千種川流域で最大の中期古墳である蟻無山1号墳が築かれました。その後には築かれた2号墳、3号墳をあわせて、蟻無山古墳群と呼ばれています。

蟻無山1号墳は、当時としては播磨最大級のもので、種類豊富な形象埴輪はヤマト政権との密接な関係をうかがわせるとともに、初期須恵器の出土から渡来人との深いかわりも考えられています。

蟻無山2号墳は直径10mの円墳で、盗掘によって須恵器や鉄刀等が出土しました。蟻無山1号墳につづく時期の古墳と考えられています。蟻無山3号墳は現地形で確認しがたいですが、松岡秀夫（有年考古館初代館長）により認定され、直径8mの円墳と考えられています。



蟻無山1号墳の出土遺物



高杯形器台

1号墳出土遺物

流水文様が描かれた高杯形器台、南方産のスイジガイ文様が描かれた船形埴輪、製作技法が古相を示す馬形埴輪など、非常に貴重な遺物が採集されています。円筒埴輪には黒斑がみられ、基部も高いものが多くみられます。



馬形埴輪



円筒埴輪（船の文様）



船形埴輪



船形埴輪



盾形埴輪



盾形埴輪



円筒埴輪

蟻無山2号墳の出土遺物



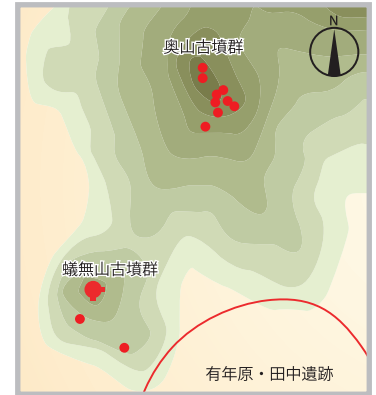
2号墳出土遺物

土師質のはそう、直口壺などがあり、それぞれの底部にはタタキが施されています。鉄刀なども出土しています。

5世紀の関連遺跡

奥山古墳群

蟻無山古墳群の北東に接続する丘陵頂上には奥山古墳群があり、蟻無山古墳群につづく時期の古墳群と考えられています。土取りによって一部が破壊され、円筒埴輪、形象埴輪、初期須恵器、鋳留短甲片などが出土しています。



有年原・田中遺跡

蟻無山古墳群のある丘陵山麓に広がる集落遺跡です。弥生時代後期の墳丘墓で有名な遺跡ですが、隣接する河道跡からは、陶質土器をはじめ、焼きひずんだ初期須恵器、瓦質土器高杯、格子タタキの施された甗が出土しています。



焼きひずんだ初期須恵器から、周囲に窯跡の存在が推定されています。

同じ旧河道内には円筒埴輪が完全な形で出土していることから、蟻無山古墳群もしくは奥山古墳群の須恵器や埴輪を焼いた集落だったのでしょう。